

警告

- **本製品の取付け前に必ず取扱説明書を全てお読み頂きに内容に沿って正しく取付けてください。取付けをされた時点で取扱説明書の内容を全てご理解頂いたと弊社は判断し、その後いかなる理由があっても保証外対応は致しません。**
- 本製品の取扱には充分ご注意ください。誤った取扱は火傷や人命にかかわる重大な事故を引き起こす危険性があります。またスパークや絶縁不良、ショートにより本製品の故障や車両火災の原因となりますので充分ご注意ください。
- 本製品は精密機器ですので、落としたり、配線を無理に引っ張ったりしないでください。故障の原因となったり、感電による怪我や火傷、人命にかかわる重大な事故を引き起こす危険性があります。
- **本製品の分解・改造は絶対に行わないでください。**
車両火災や事故の原因となります。また、分解・改造した製品の保証は受けられません。
- 取付け作業前および作業中に本製品に損傷を発見した場合は直ちに取付け作業を中止し弊社サービス課へご連絡ください。

注意

- 本製品は、ホンダ '21~PCX125(JK05)および '21~PCX160(KF47)専用です。適合車種以外への取付けは出来ません。また、フロントサスペンションをローダウンした車両への取り付けは出来ません。
- **製品取付けは整備士資格を有するプロが行ってください。素人作業で起こった不具合は保証の対象外となる場合があります。**
- 車両側ジェネレーター発電能力によってはバッテリー上がりの可能性があります。定期的にバッテリーを充電してください。
- 製品の特性上、発熱致します。取付けの際は、必ず走行時に風があたる様に確実に取り付けて下さい。また本製品を取付けた後も、定期的に増し締めなど確実に取付けられているか確認を行ってください。
- 夜間の停車時における長時間のフルパワー点灯は発熱による製品破損の原因となります。この場合は保証の対象外となります。停車中の発熱を抑える目的で減光する仕様の別売り製品である品番 11605【RSE-01ユニット】を接続してご使用ください。
- 本製品の取り付けには方向性が決まっております。必ずディマーセンサーが上を向き、配線が下になる様に取付けてください。それ以外の取り付け方でのご使用をされた場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 光軸調整は正しく行ってください。**LEDフォグ本体が固定されたまま無理に動かすと破損や水が浸入し点灯不良の原因になります。**
- 点灯中のLED発光面を直視しないでください。視覚障害の原因となります。
- 点灯中または消灯直後の熱を持った状態で本体に水分が付着したまま長時間放置すると表面の塗装が腐食する恐れがあります。付着した水分は必ず拭き取ってご使用ください。
- LEDフォグライト本体を落としたり、キズを付けたり、無理な力を加えないでください。破損、性能の低下、寿命を縮めるだけでなく、ケガの原因にもなります。
- 紙や布、ガソリン、可燃スプレー、シンナー等燃えやすい物や引火する危険のある物の近くでは点灯しないでください。
- 本製品を使用中、少しでも異常を感じた場合は、お買い求めの販売店または当社サービス課までお問い合わせください。
- 本製品の取付けをした事により車両製造メーカーの保証が受けられない場合があります。予めご了承ください。
- 本製品の使用により生じた故障・事故などの損害については、当社で一切責任を負いかねます。また修理の際に生じる脱着工賃やその他、車両を運行出来ない等の損失・費用についても当社で一切責任を負いかねます。予めご了承ください。

製品の主な特徴・仕様

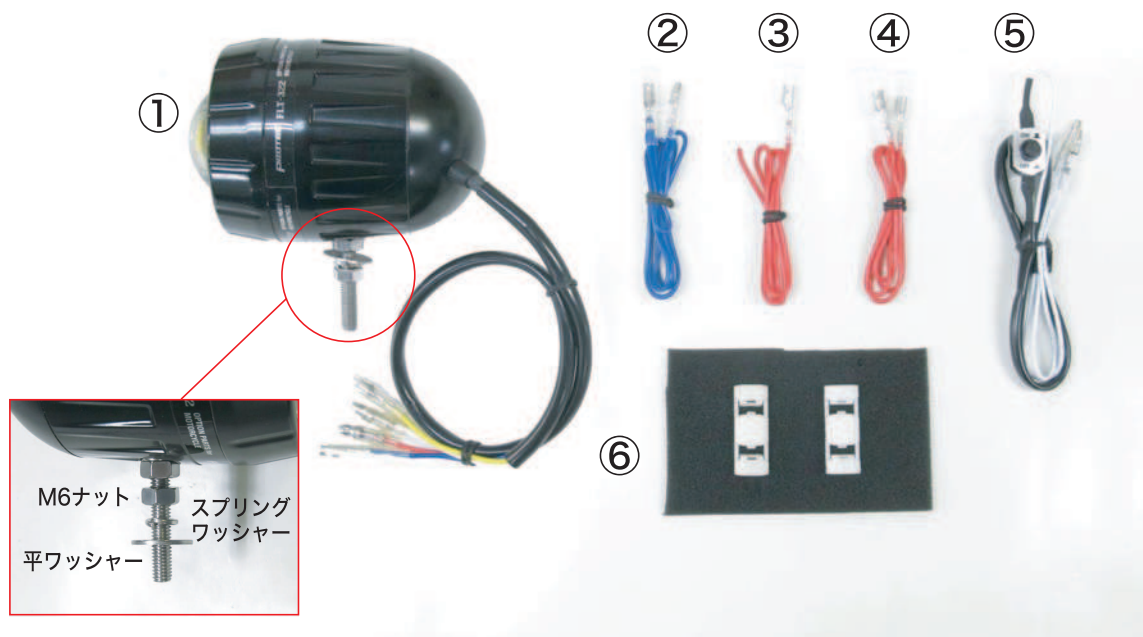
- **HIDを超えた明るさと省電力!**
本製品の入力電力は28wです。色温度は6000Kとなっております。
明るさの目安としては、35w 6000KのHIDと比較して同等以上の明るさがあります。
- **いきなり明るい素早い点灯!**
HIDと違い電源投入直後からフルパワー点灯します。またHIDのように徐々に発光色が変化する事はありません。
- **バッテリーに優しい自動減光システム採用!**
本製品はディマーセンサー(自動調光システム)を搭載しております。
日中周囲の明るさに反応してLEDの発光量を自動で減光しますので、日中はデイライトとして機能し、夜間は28wフルパワーで点灯します。(減光状態と差は5倍です。)
また、別売りのエンジン回転センサー(RSE-01)を接続する事で、夜間停車中アイドリング時にも減光します。
- **走行風による強制空冷タイプ**
本製品は、走行風を本体ユニット全体に当てる事でLEDの発熱を強制的に冷やす設計となっております。
例として時速36kmで風速10mの風で冷却されるため走行中はほとんど発熱しません。
日中はディマーセンサーの働きで1/5減光しますのでほとんど発熱はしません。
- **子機の増設が可能!**
本製品は別売りの品番 66322-R【FLT-322右ボルト】を取付ける事で車体の左右に振り分けての取り付けが可能です。
ご注文の際は取付けられる車種名を必ずご指定ください。使用車種をご指定された場合、山無しナットなど付属致します。
左右2灯でご使用される場合は必ず、別売りの品番 11607【BDR-110 BAT,直リレー-kit 12v 10A】をご使用ください。
- **質感の高いダイキャストボディ**
本製品の本体は高級感あふれるダイキャスト製です。

仕様

●定格電圧 DC12V ●消費電力 28W ●色温度 6000K ●重量 420g

構成部品表

- | | |
|------------------------------|--------------------|
| ①LEDフォグライト (FLT-322)左ボルト × 1 | ②アース用コード (青) × 1 |
| ③電源取り出し用コード (赤50cm) × 1 | ④延長コード (赤50cm) × 1 |
| ⑤ON/OFFスイッチ (12v 3A以下) × 1 | ⑥エレクトロタップ (白) × 2 |



取り付け上の注意

本製品は車体左側(リヤブレーキレバー側)に取り付け配線が下を向く様に取り付けてください。

指定以外の取付けは雨水などが配線を伝って本体内部への浸入し故障の原因になります。

また対向車の運転者に迷惑が掛からないような照射角度にて取り付けてください。

取付けについては保安基準を満たすため、以下の条件のもと取付けてください。

- ・ヘッドライトの中心より下に装着する事。
- ・照射はヘッドライトの光軸より下である事。
- ・フォグライトだけで同時に3個以上点灯してはいけない。
- ・独立した点灯、消灯できるスイッチを取り付ける事。
- ・取り付け位置は地面から25cm以上80cm以下である事。
- 詳しくは道路運送車両の保安基準を参照ください。

二輪自動車等の灯火器及び反射器並びに指示装置の取付装置の技術基準5.2.3.5.

前部霧灯は、左右同数であり、かつ、前面が左右対称である自動車に備えるものにあつては、車両中心面に対して対称の位置に取り付けられたものであること。ただし、前部霧灯を1個備える場合にあっては、この限りでない。

配線図



取付け方法

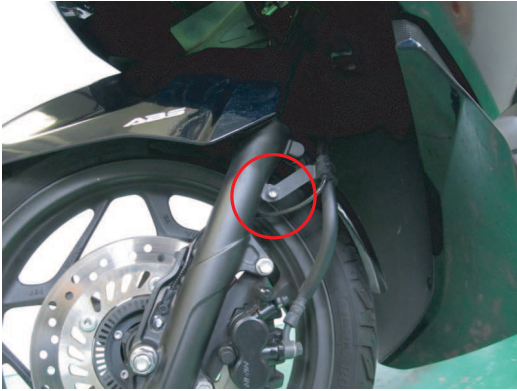
- ① スクリーンやインナーカバーなどを取り外します。



外装類の取り外し方や取付け方法はプロテックブログにて詳しくご紹介しております。こちらのQRコードよりご覧ください。



- ② フロントフォーク(左)ブレーキホースステーのM6ボルトを外します。
※外したM6ボルトは使用しません。



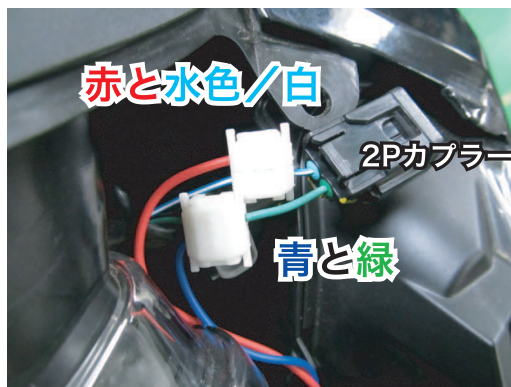
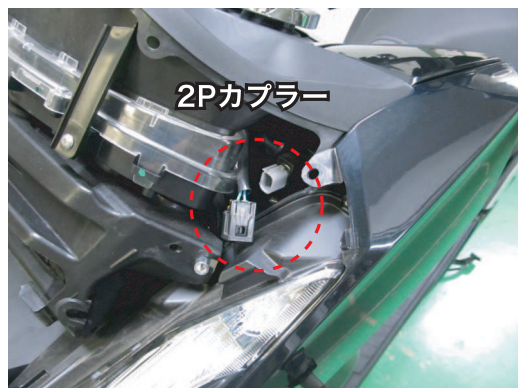
- ③ 下の画像の様にフォグのネジ部にM6ナット、スプリングワッシャー、平ワッシャーを取り付けます。



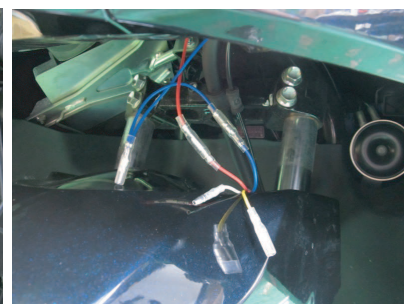
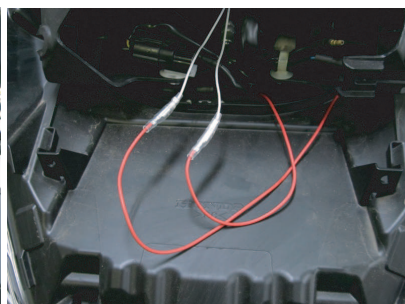
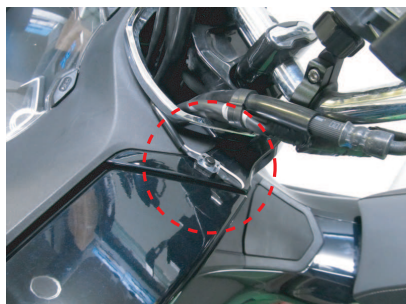
- ④ フォグライトを②で外したネジ穴に取付け、③のM6ナットを締め付けて固定します。



- ⑤ 車体左側グローブBOX内のUSBソケット裏黒2Pカプラーに部品表②、③の接続用コードをエレクトロタップ白で結線します。
- ・部品表②青コード(アース用)と車両側の緑を結線します。
 - ・部品表③赤コード(電源用)と車両側の水色/白を結線します。



- ⑥ ON/OFFスイッチはハンドル周りなどお好みの場所に貼り付けます。
- 配線図を参考に部品表③の電源用コードと部品表⑤のスイッチを接続します。
- 部品表⑤のスイッチとLEDフォグの赤コードを部品表④の延長コードで接続します。
- 部品表②のアース用コードとLEDフォグの青コードを接続します。



エンジン回転センサー RSE-01ユニットの動作説明

別売りの RSE-01 エンジン回転センサーを取付ける事で、夜間、LEDフォグライト本体のディマーセンサーに太陽光が当たらない場合、エンジン回転数によって減光またはフルパワー点灯のいずれかの点灯状態になります。減光のタイミングは走行状態から停車した時、数秒後にゆっくりと減光し始め、更に数秒後に完全に減光します。

※日中、LEDフォグライト本体にあるディマーセンサーに太陽光が当たっている時は走行中、停車中のエンジン回転数に左右されず常に減光点灯の状態になります。



品番:11605 RSE-01エンジン回転センサー ¥2,200(税込)



エンジン回転約2,000rpm以下のアイドリング停車中は減光点灯



エンジン回転約2,000rpm以上の走行中はフルパワー点灯

RSE-01 エンジン回転センサーの取付け方法

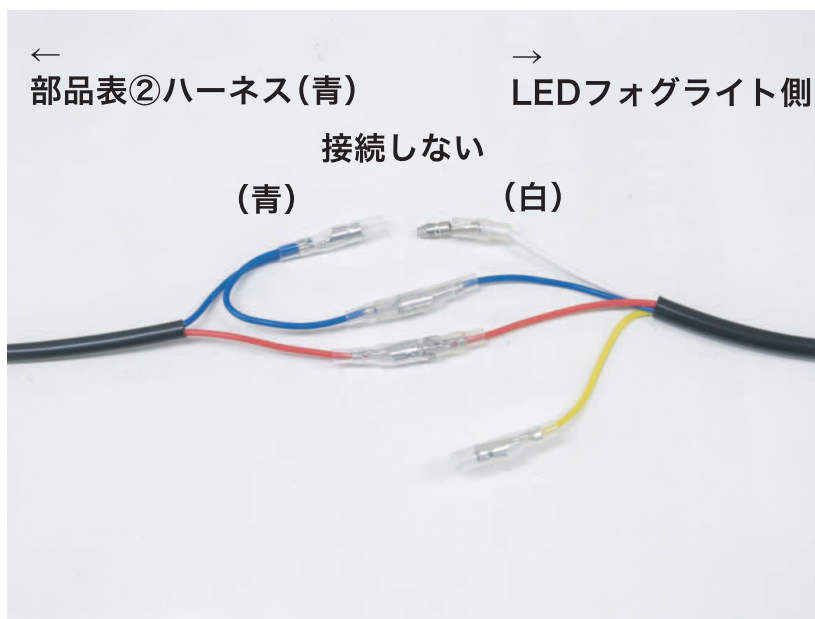
- ① プラグメンテナンスハッチを開けると点火コイルがあります。
点火コイルに接続されている黄／青コードにRSE-01の黄コードをエレクトロタップ又は、被覆を剥いて金属線同士を絡ませてハンダ付け結線します。
※ハンダ結線の場合は必ず絶縁テープを巻いてください。



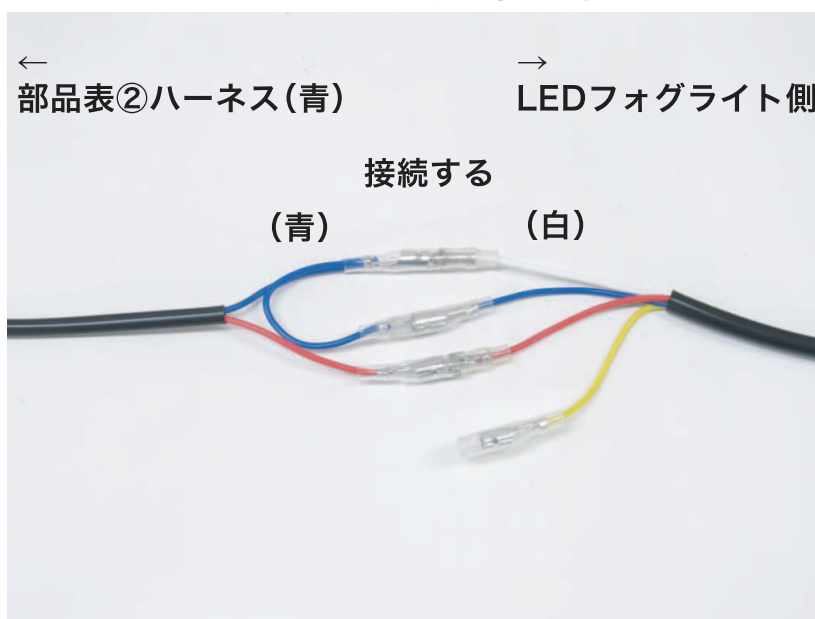
※画像は違う年式の車両の物を使用しておりますが基本は同じです。

その他の配線方法については、RSE-01ユニットの取扱説明書をご覧頂きまして結線してください。

ディマーセンサーを**有効**にする場合(日中減光・夜間フルパワー点灯)



ディマーセンサーを**無効**にする場合(昼夜常時フルパワー点灯)



ディマーセンサー機能を無効にした場合、長時間の停車をしますと、LED基盤が高温発熱し製品破損の原因になりますのでご注意ください。

夜間走行時(フルパワー点灯時)を100%とした場合の明るさ比較

※電源投入後6~10秒間(アイドリング中)はフルパワー点灯します。
10秒後から1/5に減光します。それ以外は下記の図の通りです。

